選択

2023.3月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe 40 金融の世紀―黒木 亮
42 大往生考
51 西風
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

核燃サイクルの迷惑施設を一手に引き受ける青森県。来る選挙で知事が交代、膨大な原発マネーを巡る利権構造も大きく変わる。最も深刻な打撃を受けるのが、今や「不祥事の宝庫」と化した関西電力だ。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 種子「遺伝子バンク」が風前の灯
■安全保障は武器より「タネ」
102 「イスラムモスク」が各地で増加中―地域での「共生」に課題諸々
104 首都直下型地震で「地下ガス」の脅威
■「大火災」を巻き起こすリスク
106 「代理店依存」という日本の病―行政・国家事業で不正横行の必然
108 新聞界が絶望する紙価格「暴騰」―読売新聞が狙う業界再編「焦土作戦」
日本のサンクチュアリ●シリーズ582
110 青森「原発マネー」―知事選と電力会社の蠢動
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　読売新聞社　など

経済

60 楽天は「破滅」を回避できるか―近づく資金繰り「どん詰まり」
62 三井住友「トヨタ偏重」の危うさ―豊田家寵愛「新頭取」が撤いた火種
64 電力会社「解体論」が急展開
■発送電「資本分離」は実現するか
67 連載〈クローズ・アップ〉松山一雄（アサヒビール新社長）―「外部人材」に頼る悪しき伝統
68 連載〈企業研究〉商工中金
■民業圧迫「不完全民営化」の詐術
72 米国「新型金融危機」が破裂間近
■次の主役は「影の銀行」
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉横浜銀行―神奈川銀行買収の「些末な理由」
80 章男「院政」トヨタの血の粛清
■三副社長「全員左遷」の謀略
82 国内ワクチン産業に迫る「淘汰」―インフル市場「外資参入」が致命傷
84 日銀人事「天物OB」たちの愚行―迷走と政争で生じた亀裂
86 半導体覇権「台湾人脈」の深謀―「対中封鎖」で米国と結束

政府の財政支援も続くし、5000億円以上の公金も返還なし。偽装の民営化が可能なのも、関根社長が岸田首相の「ご学友」だから。時の政権をバックに、好き放題の業務拡大。競合する銀行はたまらない。(68頁)

政治

「外交の岸田」が自慢のはずが、G7議長国なのに唯一人、キーウに行かずじまい。訪問の好機はあったが、毎度の通り、首相自らが決断できず。戦地が怖い平和ボケ宰相は、政局無風の中、怠惰が際立つ。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 政界から消える「安倍家」
■「岸家」も危うい山口県の事情
48 キーウに行かない岸田
■「鈍感外交」と慢心の政権運営
52 連載〈政界スキャン〉日銀総裁人事に現れた「宏池会病」
54 岸田の本性は「タカ派の軍事好き」
■防衛費「大幅増額」の意外な背景
56 安倍の負の遺産「北方領土交渉」―『回顧録』が明かす裏切りの密約
58 連載〈罪深きはこの官僚〉柴田大輔（警視庁捜査第一課管理官）―「被疑者自殺」公開捜査の安易な決断

WORLD

3 連載〈巻頭インタビュー〉アンジェロ・イシ―外国人労働者は日本に来なくなる
●特別リポート
6 中国「海の覇権」に限界
―東南アジアに「反撃」の連帯
12 気球問題が示す米中の「情報格差」
■習近平「大恥」の内幕
14 ドイツ産業が「空っぽ」になる日―中国のワナで名門企業が凋落
16 ウクライナ「中露VS米国」の新局面
■バイデンが描く「停戦」の難路
18 WORLD●情報カプセル
22 トルコ地震「欧州難民危機」が再燃
■国境「壁建設」を是認するEU
24 中国が仕掛ける対米「麻薬戦争」―習近平一族とメキシコの暗躍
28 「ムスリム同胞団」で内紛が過熱―過激思想「テロ拡散」の火種
30 ミャンマー混迷「日本財団」の罪―笹川陽平「国軍べったり」の悪評
32 韓国経済は「クラッシュ」寸前
■映画より怖い壮絶な格差へ
34 台湾「ウクライナ化」の現実味―中国の脅威増大と「日米への不信」
36 中国経済が向かう「バブル再膨張」―習近平「政策混乱」の異常事態
38 連載〈現代史の言霊〉三月の侵攻―イラク戦争開戦（二〇〇三年）

アジアの海で暴虐を尽くす中国に、「反中抵抗網」が築かれつつある。ASEANの主要国が連帯を強め、米国がこれを後押しする。中国の海洋膨張に叛旗が続々揚がる中、日本に対する友好国の期待が高まる。(6頁)